

## 折鶴観音建立の会

涙であおぐ 観音の  
はばたき給え 折鶴よ  
思えば平和 遠かりし  
舞いたち給え 折鶴よ  
世界の人を つなぐため  
天掛け給え 折鶴よ

平和観音とは別に、極楽寺堂裏に昭和61年4月13日石造の折鶴観音が建立された。全高約4mで観音像は1.2mである。その台座表側に「折鶴よ永久に」の詩から、三連各々の下二行が抜粋して刻まれている。この詩は折鶴観音建立の会全員で作詩作曲したもので台座裏に全詩が書かれている。

この建立のいきさつは、三村勲氏(五日市中央六丁目)が北朝鮮で敗戦を迎えた同胞の悲惨な体験が忘れられず、世界平和の願いを観音に託すことを計画し、廃品回収を開始、これに感動した地域の十二人の戦争体験者が、折鶴観音建立の会を結成(会長小島逸雄氏)したところ住民や商店から多くの浄財が集まり観音様をお迎えできた。

極楽寺前住職菅梅文恵師のお許しご協力を得て、開眼法要の運びとなった。

今でも毎年四月に関係者が集まり祈願法要をしている。

山の森巖さの中に昭和の歴史を語る碑として永く後世に伝わることだろう。

### 折鶴よ永久に

- 一 かえりみられぬ物すべて  
集めし風や雪の日も  
涙であおぐ観音の  
はばたき給え折鶴よ
- 二 今日も戦火に民迫われ  
拡がる核のとめどなく  
思えば平和遠かりし  
舞いたち給え折鶴よ
- 三 集いし我ら手を取りて  
にじの懸橋渡り初む  
世界の人をつなぐため  
天駆け給え折鶴よ

